

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
平成30年度契約監視委員会（第1回）議事録

1. 日 時 平成30年6月6日（水） 13:30～17:15
2. 場 所 農研機構 特別会議室
3. 出席者 高橋委員長、菊池委員、國井委員、渡邊委員
小林（一）委員、平田委員、小林（栄）委員
4. 議 題
 - (1) 農研機構からの報告・提案
 - ① 前回委員会での要請に対する報告
 - ② 「独立行政法人における調達等合理化計画の取組の推進について」（平成27年5月25日総務大臣決定）に基づく調達等合理化計画及び自己評価の点検について
 - ・ 平成29年度調達等合理化計画の自己評価の点検
 - ・ 平成30年度調達等合理化計画の点検
 - ③ 随意契約、一者応札・応募の点検数量について
 - (2) 平成29年度第3四半期及び第4四半期に実施した契約案件の点検
 - ① 競争性のない随意契約（54件）（平成29年10月～平成30年3月）
 - ② 一者応札・応募案件（330件）（平成29年10月～平成30年3月）
 - (3) その他
5. 議事概要

上記議題について事務局からの説明後、点検が行われた。主な内容は以下の通りであった。

- (1) 農研機構からの報告・提案
 - ① 前回委員会での要請に対する報告
 - ・ 特になしの旨報告した。
 - ② 「独立行政法人における調達等合理化計画の取組の推進について」（平成27年5月25日総務大臣決定）に基づく調達等合理化計画及び自己評価の点検について
 - ・ 平成29年度調達等合理化計画の自己評価及び平成30年度調達等合理化計画について、調達の現状と要因分析結果による自己評価の実施内容及び平成30年度計画の評価指標について点検が行われた。
- <平成29年度調達等合理化計画の自己評価>
- 【重点的に取り組む分野】
- ・ 点検の結果、(2) 研究開発用に係る物品及び役務の調達、(3) 一般的な物品及び役務の一括調達、共同調達について、自己評価として調達における人件費等の内部発生コストに関する効率化の評価はあるが、購入価格に関する調達コストの経済性の評価も必要ではないかとの意見があった。
- <平成30年度調達等合理化計画>

- ・点検の結果、特段の意見はなかった。

(2) 平成29年度第3四半期及び第4四半期に実施した契約案件の点検

① 競争性のない随意契約

- ・競争性のない随意契約について点検が行われ、「インターネット回線契約初期費用」について、業者の選定経緯に関し、より多くの者に入札参加機会を与え、経済合理性と透明性を確保する理念からは契約方式に関し疑問である旨指摘があった。

また、「豪州産ヨーネ病排菌牛」の購入について、合理的な根拠に基づいた予定価格の積算とは認められない旨指摘があった。

さらに、「レンタルフォークリフトの修理」について、契約締結において規定されている随意契約事由への準拠性が正しく判定されていたとは認めがたいとの指摘があった。

契約相手方が特定される場合の随意契約事由については、随意契約の妥当性を判断するための事項を明確にし、具体的に説明するよう要請があった。

② 一者応札・応募案件

- ・一者応札・一者応募に関して入札方法、不参加者へのアンケート調査、予定価格の積算などに関し点検が行われた。
- ・点検の結果、「契約名称及び内容」欄について、契約名称だけでは内容を理解できない案件があるため、差し支えない範囲で内容を記載するよう要請があった。

③ 随意契約新規案件の事後報告

- ・事後報告13件の競争性のない随意契約について点検が行われた。
- ・点検の結果、今後一般競争に付すべきとの意見はなかった。

以 上